

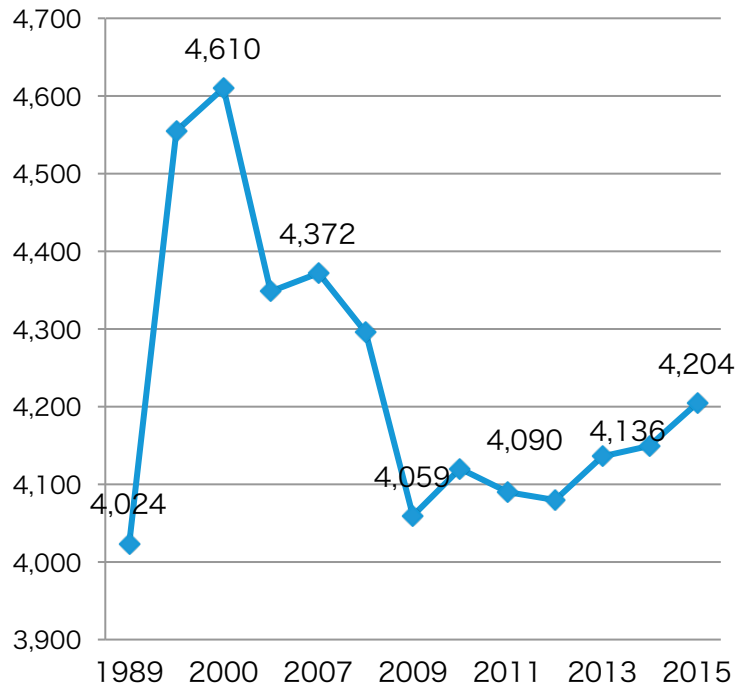
# 濃建版勤労奨学生制度 「Work Student制度」について

平成29年1月15日現在  
株式会社濃建

# 日本人の所得と教育費

## 日本の平均給与推移

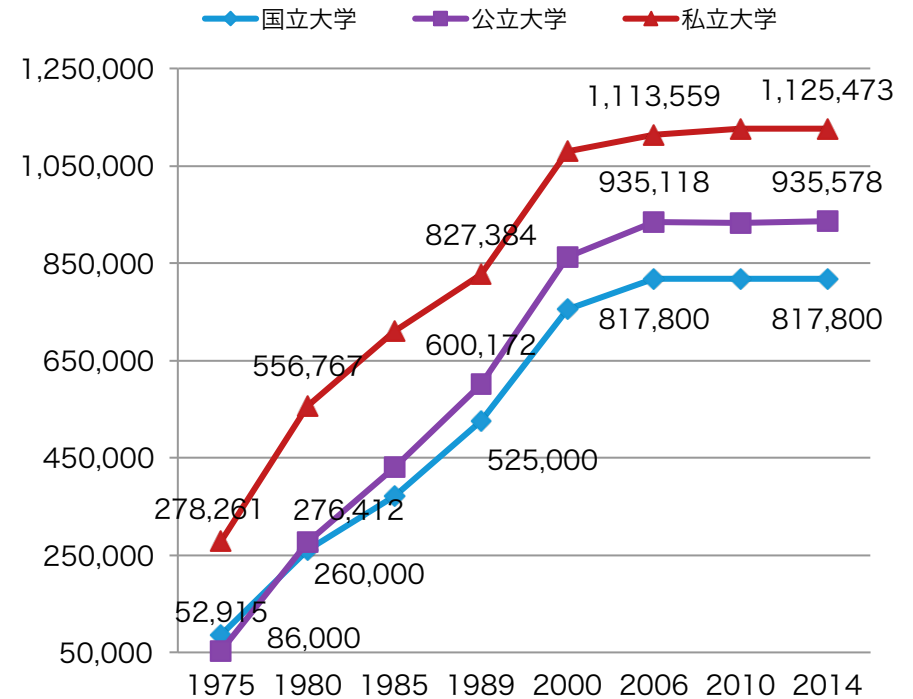
(単位：千円)



出典：国税庁「民間給与実態統計調査結果」給与階級別の総括表より

## 初年度授業料の推移

(単位：円)

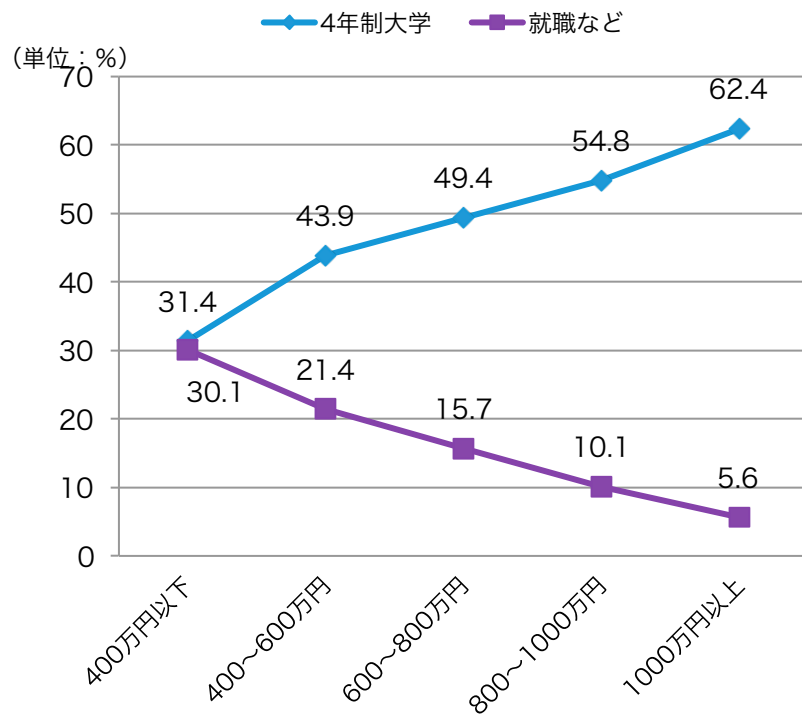


出典：内閣府「平成17年度国民生活白書」より「教育にかかる費用」より  
初年度入学金と学費の合算金額

所得は低下しているが、学費は上昇を続けている

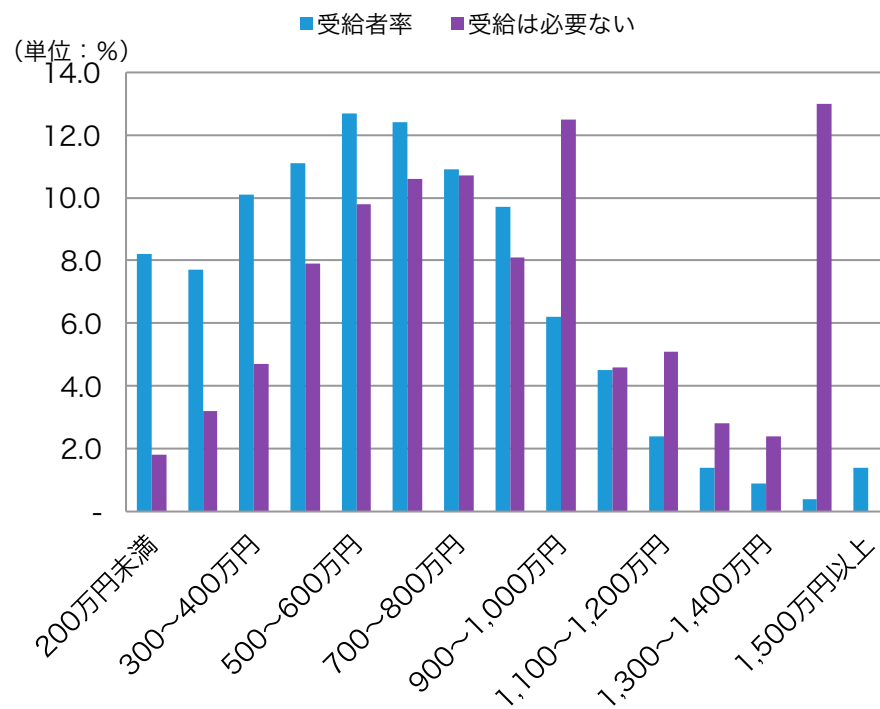
# 経済格差と教育格差

## 家庭年収別高校卒業後の進路



出典：東京大学大学院教育学研究科 大学経営・政策研究センター  
「高校生の進路追跡調査第1次報告書」(2007年9月)

## 家庭年収別 奨学金受給率

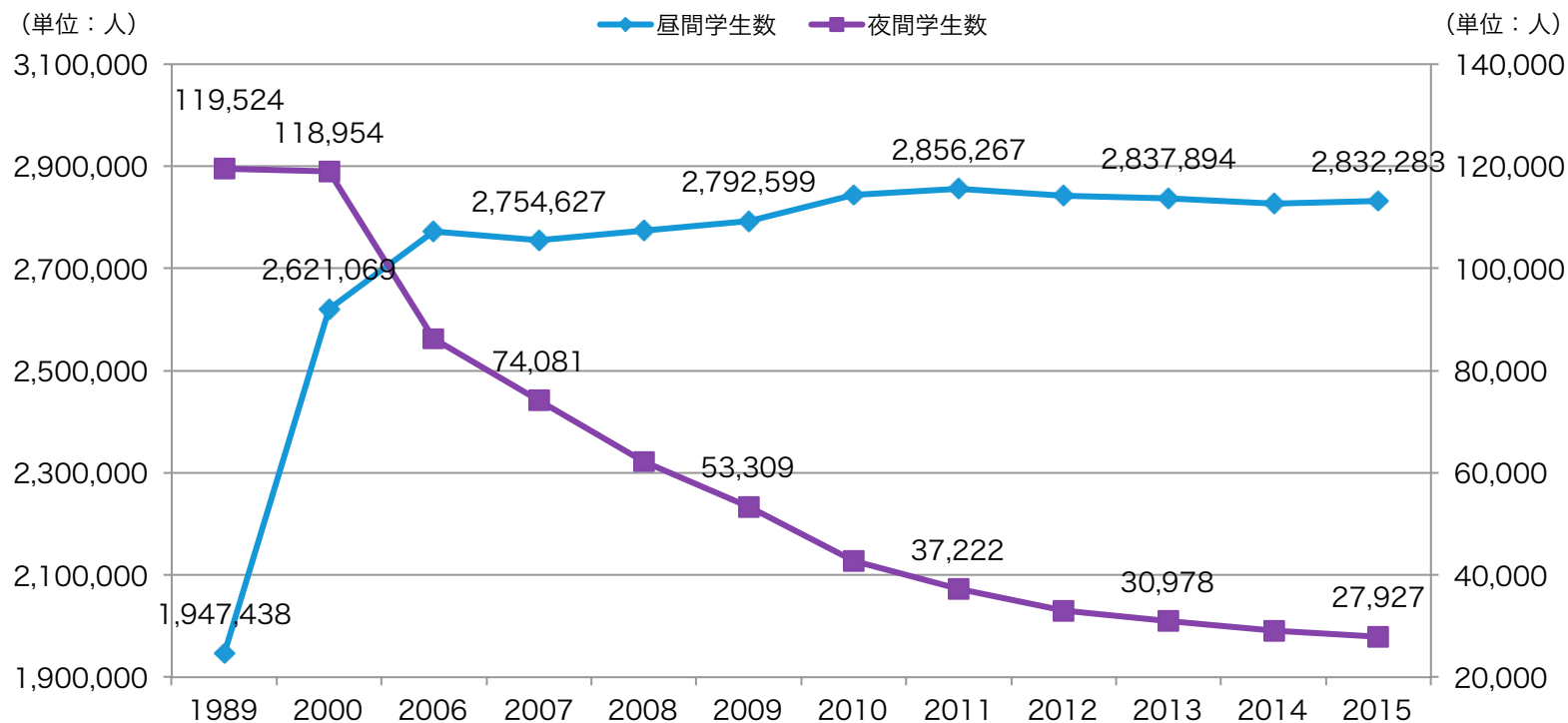


出典：日本学生支援機構「学生生活調査結果」平成27年度版  
奨学金の希望及び受給の状況

家庭の収入の差がそのまま教育機会の差に繋がっている

# 働きながら学ぶ環境の減少

## 昼間学生と夜間学生数の推移

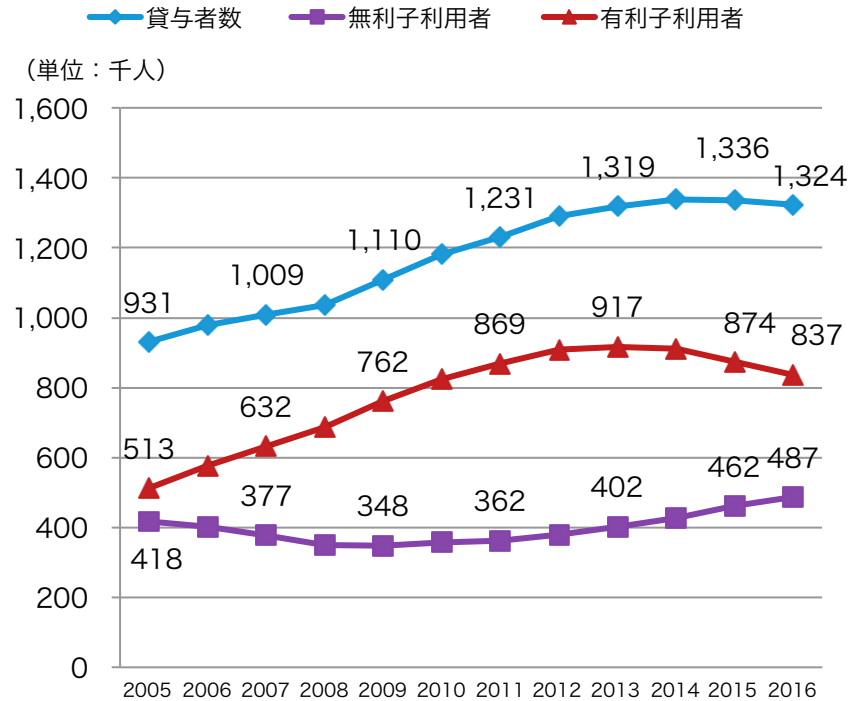


出典：文部科学省「学校基本調査」年次統計 高等教育機関 平成元年～平成27年度

全入時代を迎え学生数は280万台で推移。夜間学部の学生は激減

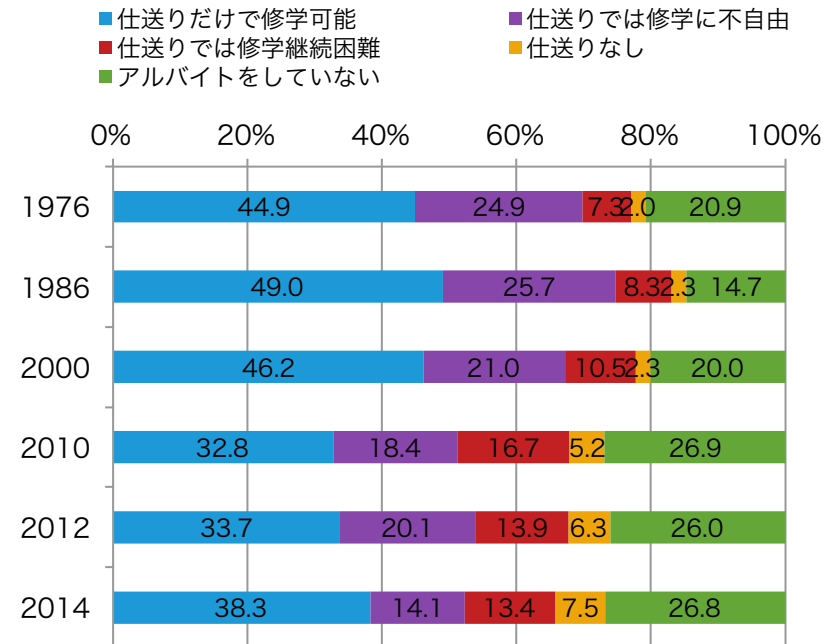
# 奨学金利用者の増加

## 奨学金利用者数の推移



出典：独立行政法人 日本学生支援機構  
「日本学生支援機構について」

## アルバイト就業理由

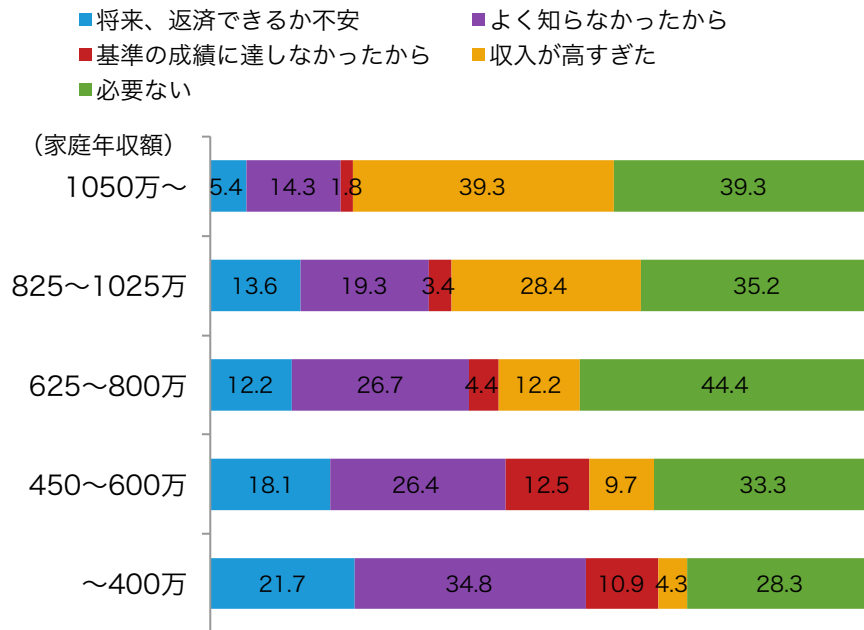


出典：日本学生支援機構「学生生活調査結果」家庭からの給付程度別  
アルバイト従事者の全学生に対する割合（大学昼間部）

280万人の大学生のうち130万人（全体の38%）が奨学金を利用

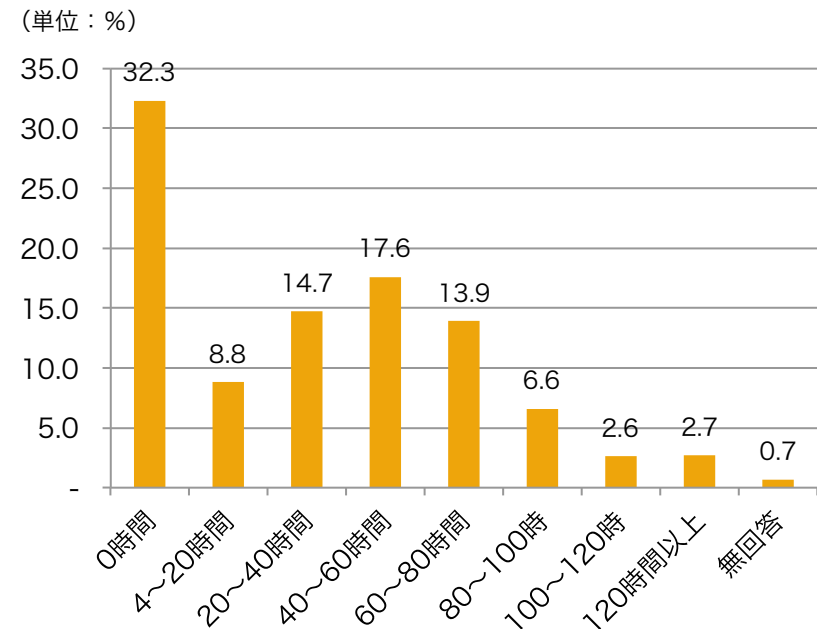
# 奨学金を回避する層も

## 収入別 奨学金の不申請理由



出典：文部科学省科学研究費基盤（B）  
「教育費負担と学生に対する経済的支援のあり方に関する実証研究」  
（小林雅之研究代表）、サンプル数は、1,064

## 1ヶ月のアルバイト平均時間

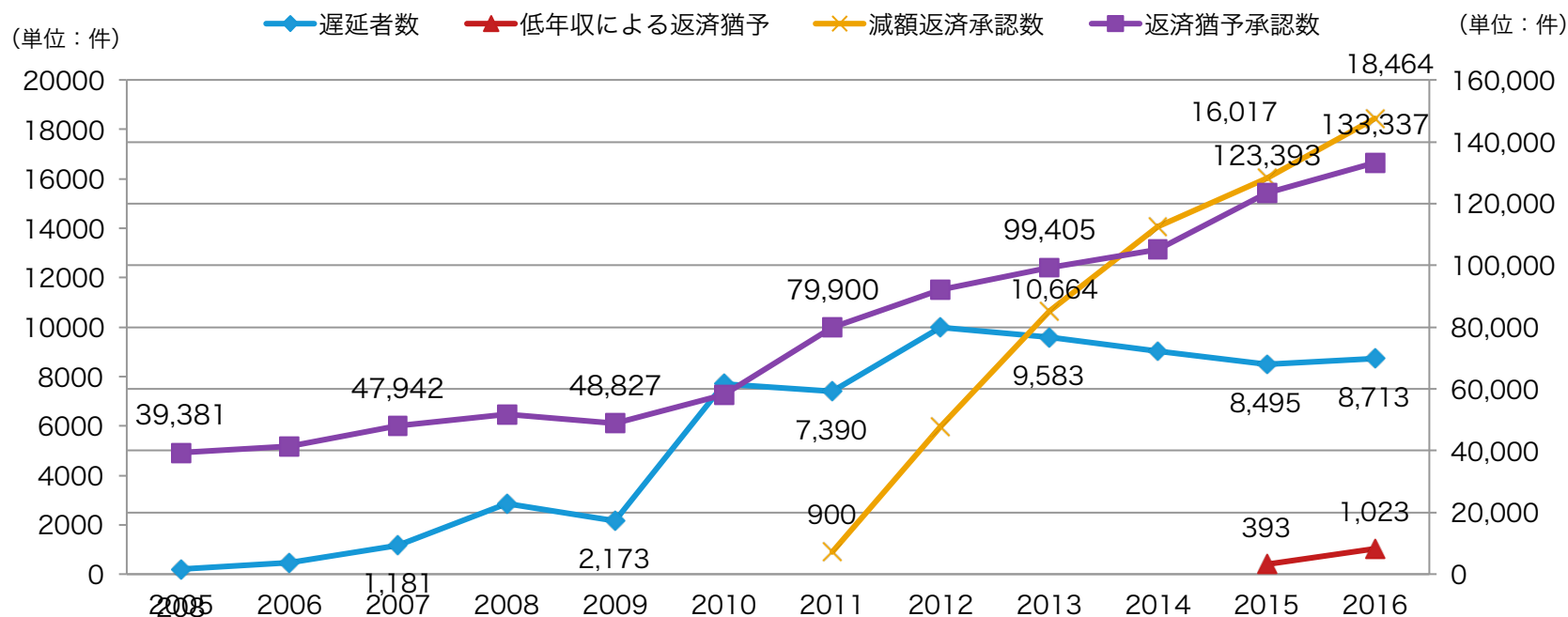


出典：日本学生支援機構「学生生活調査結果」  
週間平均生活時間（大学昼間部）

低所得の家庭ほど奨学金の利用を回避する傾向にある  
学生の1割は月80時間（週20時間）以上をアルバイトに費やす

# 卒業してから「借金」に苦しむ

## 返済遅延者・猶予者数推移

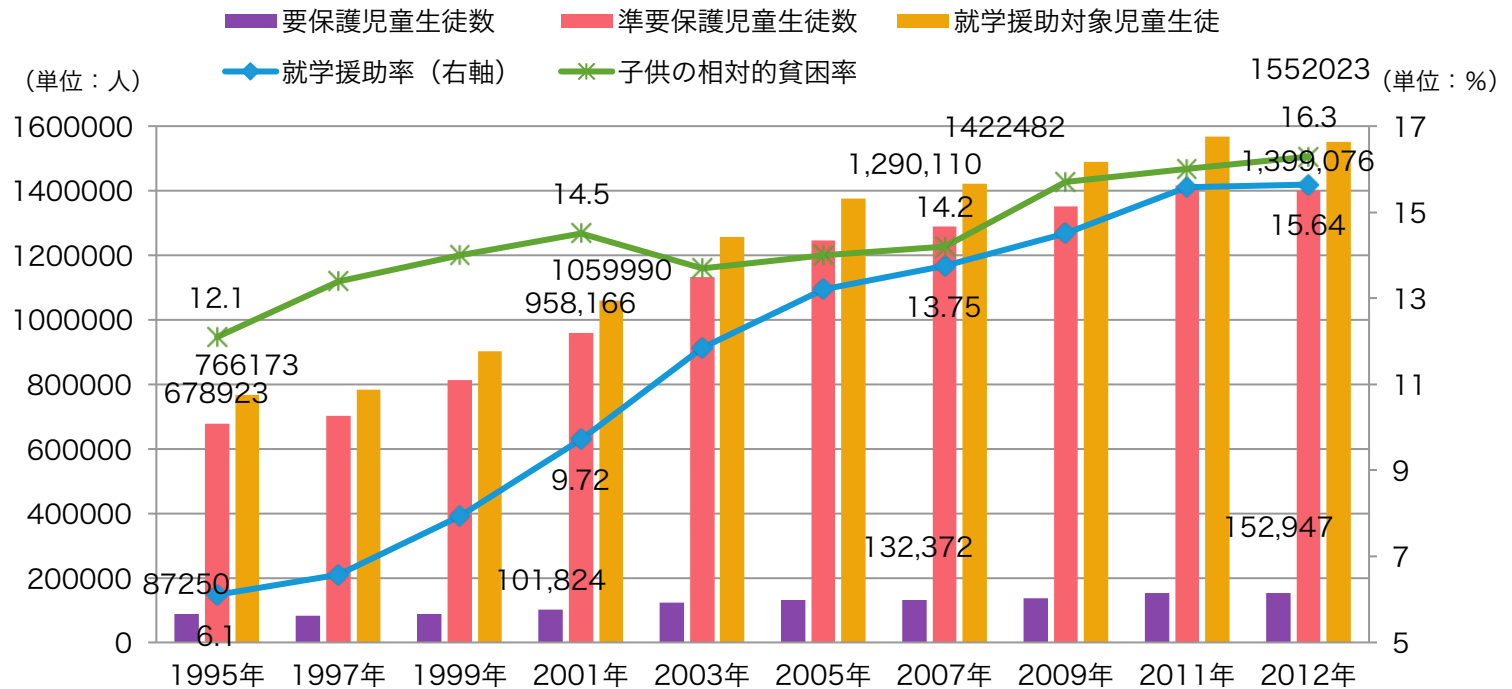


出典：日本学生支援機構「奨学金事業への理解を深めていただくために」  
～報道等を見て関心を持ってくださった皆様に向けたデータ集～（平成28年11月）

奨学金返済の遅延者数は減少しているが、返済猶予者や減額承認者（金利免除等）が激増

# 子供の貧困と奨学生の増加

## 小・中学生に対する就学援助の状況

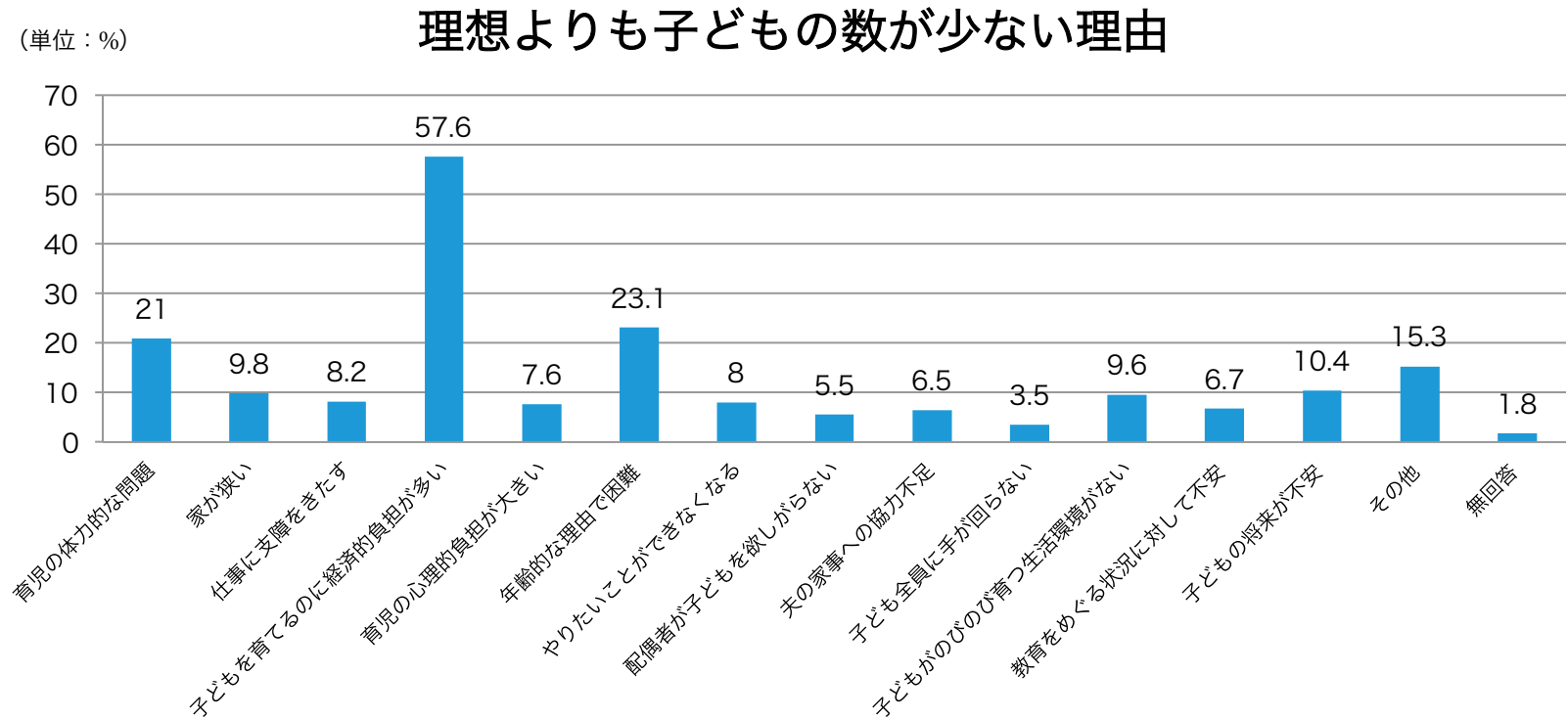


出典：内閣府「平成28年版子ども・若者白書」第1章

子供の貧困率の上昇  
就学援助率が上昇した世代が大学に進学＝奨学生の増加



# 少子化問題＝経済問題



出典：内閣府「国民選好度調査」平成16年度版

子どもを産まない理由の57.6%が経済的理由

# 大学生活の現状

- 所得格差と教育格差が拡大
- 働きながら学ぶ場が減少
- 大学生の38%が奨学金を利用
- 奨学金の滞納や猶予承認数が増加
- 低所得者ほど過酷なアルバイトに従事
- 増加が予想される奨学生と貧困層

**教育機会の不平等**

**濃建版「Work Student制度」で  
この社会的課題を解決します**

# Work Student制度について

Work Student制度とは

## 濃建で働きながら大学に通う制度

「貧困問題」「教育格差」「奨学金問題」という社会的課題の解決の手法として  
濃建で夜間に働きながら昼間に一般の大学に通う勤労奨学生制度

コンセプト

**学ぶ意欲のある若者に機会と選択肢を**

# 本制度の目的

## 教育格差の是正 奨学金問題の解決 貧困のスパイラルの根絶

所得格差による教育機会の格差を是正し、経済的理由により進学を断念する人材を救う  
若年層の所得向上に寄与すると共に、奨学金による経済的困難を持つ若者を救う

# Work Student制度でできること



貧困層25.1%（母子家庭の40%）が子ども貧困層になる負の連鎖

出典：生活保護の受給に関する堺市健康福祉局07年度調査結果



教育機会を提供することで貧困のスパイラルからの脱出を支援

# それぞれの課題

## 社会

- ・ 経済、教育格差の拡大
- ・ 経済問題と少子化問題
- ・ 給付型奨学金による財政負担
- ・ 貧困の連鎖の発生

## 学生

- ・ 働きながら学ぶ環境の減少
- ・ 奨学金利用者の増加
- ・ 不当な労働環境での労働
- ・ 将来に渡り圧迫される家計

## 濃建

- ・ 非正規雇用ができない
- ・ 日本人しか雇用できない
- ・ 幹部候補の不足
- ・ 慢性的な人材不足

# 本制度の概要

## 勤労奨学生として、仕事をしながら大学に通う

近年その数が減りつつある勤労学生と新聞奨学生の制度をミックスさせた制度。正社員として雇用し、保険・年金等の安定した環境を提供すると共に4年間で大学を卒業できるように支援する

## 他の奨学制度と比較し、2倍～4倍の支給金額

一般的な奨学金制度の4倍、新聞奨学生制度の2倍の金額を支給。金銭的な余裕を持って大学に通学可能。

## 通学可能な四年制大学に通い、夜間に仕事をする

濃建の仕事は夜勤が中心なので昼間は他の学生と同様に大学で授業を受け、深夜に勤務を行う  
勤務に関しては学業との両立が可能なように学事スケジュールに配慮した勤務体系を取る

## 卒業後は自分で決めた企業等に就職。借金も残らない

四年分の学費と生活費は本制度内で完結。学業の成績や能力等では貯金を持って次の進路に進むことが可能  
※ ただし、社会保険と税の関係で厳密には転職扱いとなるので相手企業と交渉する必要がある  
※ 受け入れ可能企業の掘り起こしには外部の人材業界の企業との提携を視野に入れる



# 本制度の特徴

## 拘束時間が他の夜勤より短い

工場やコンビニエンスストアの夜勤は9時間程度に対し、濃建の夜勤は6時間～7時間程度で拘束時間が短く、その分休憩が可能。現場での作業時間は4～5時間程度。また、作業の早期完了で勤務が短時間で終了することも。

## 給料が他の仕事に比べて高い

他の夜勤が時給1200円程度に対し、濃建の夜勤は時給換算すると1500円～1700円程度。給与は日給計算なので早く仕事が終わっても給料は同じだけ支給

## 住宅提供や社会保障など自立のための支援を行う

正社員として採用し、初年度は家賃ゼロで光熱費負担無しの住宅を提供予定（レオパレスを予定。満室の場合は制度の変更有り）。2年目以降も格安の社宅（もしくは社員寮）を提供。また、厚生年金や健康保険などの制度を会社負担で提供

## 卒業時に（退職金を支払うので）貯金が可能

大学生の平均生活費と同様の生活水準で生活をすれば国公立学生で360万円の貯金が可能。別途で卒業時には退職金を支給

## ビジネスマナーや就活支援を社内教育として実施

社会人基礎力向上のためのプログラムや就活対策等の一般企業就職を採用コンサルタント資格保有者が支援

# 本制度の対象者

## 募集人数

各学年 4名～7名  
合計 15～30名程度

## 対象

- ・ 岐阜県内・名古屋地区の大学に進学予定で以下に該当する人材
- ・ 大学入学資格を有している人材（高校卒業見込みも含む）
- ・ 在学中の学生も可能

**経済的な理由で進学を断念する学生**

**奨学金を借りて進学することに抵抗のある学生**

**仕送りを貰うことができない学生**

**アルバイトで生計を立てている学生**

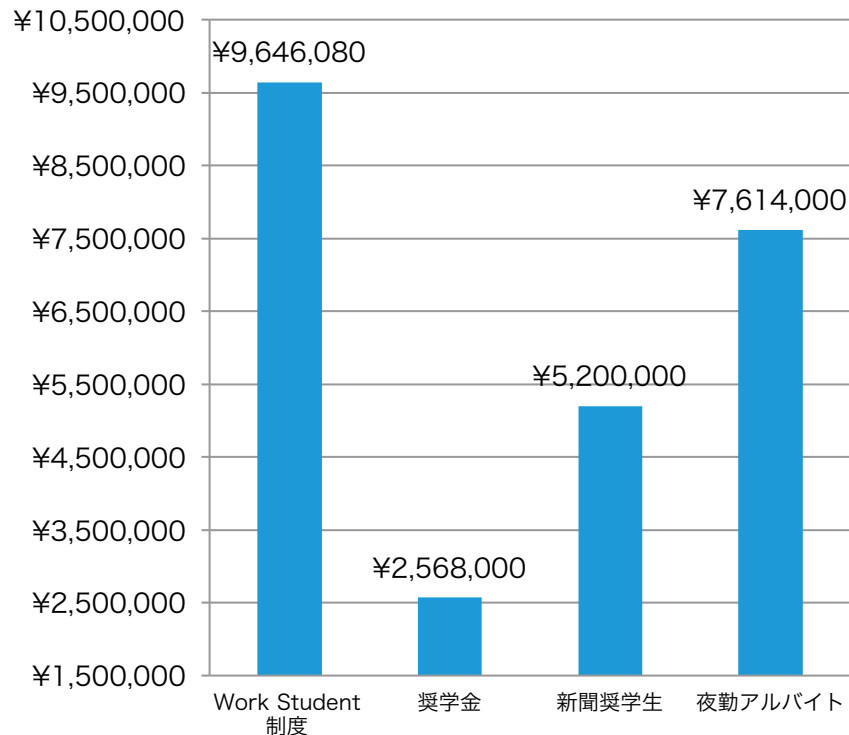
**新聞奨学生や奨学金等、既に他の奨学制度を使用している学生**

# Work Student収支モデル（年間）

初年度収支		国立大	公立大	私立大文系	私立大理系
年間収入	給与	¥2,411,520	¥2,411,520	¥2,411,520	¥2,411,520
	家賃	¥414,000	¥414,000	¥414,000	¥414,000
	<b>収入計</b>	<b>¥2,825,520</b>	<b>¥2,825,520</b>	<b>¥2,825,520</b>	<b>¥2,825,520</b>
年間支出	学費	¥817,800	¥935,578	¥1,146,820	¥1,501,233
	交通費 (新羽島～名大前)	¥138,260	¥138,260	¥138,260	¥138,260
	図書費（教科書代）	¥47,250	¥47,250	¥47,250	¥47,250
	準備金返済	¥120,000	¥120,000	¥120,000	¥120,000
	控除分(厚生年金・健康保険)	¥241,152	¥241,152	¥241,152	¥241,152
	<b>支出計</b>	<b>¥1,364,462</b>	<b>¥1,482,240</b>	<b>¥1,693,482</b>	<b>¥2,047,895</b>
年間収支	<b>手取り金額（年間）</b>	<b>¥1,047,058</b>	<b>¥929,280</b>	<b>¥718,038</b>	<b>¥363,625</b>
	1月あたり生活費	¥87,255	¥77,440	¥59,837	¥30,302
	1日あたり生活費	¥2,908	¥2,581	¥1,995	¥1,010

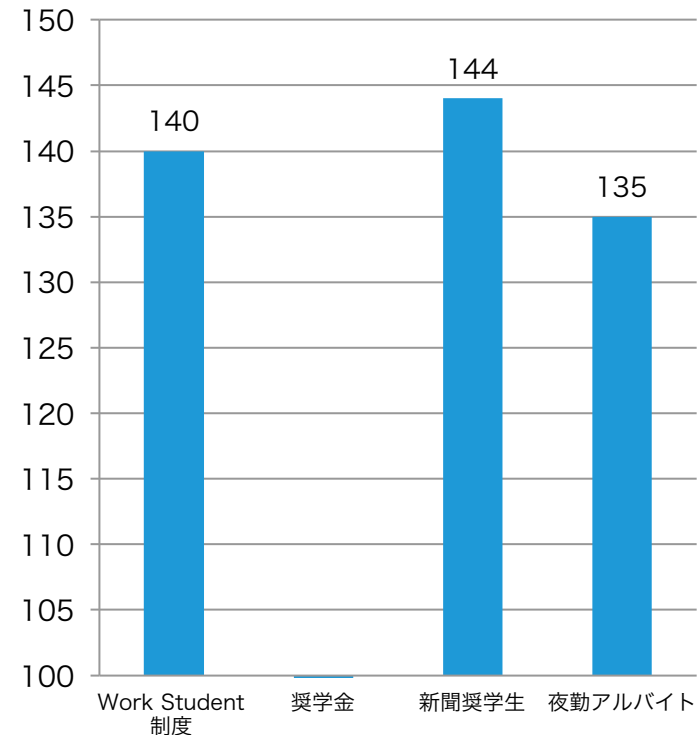
# 他の奨学制度等との比較

## 4年間の収入



## 1ヶ月の労働時間

(単位：時間)



収入額は奨学金の4倍、新聞奨学生の2倍。労働時間は新聞奨学生以下  
時給はWork Studentが1,435円、新聞奨学生が735円

# (詳細) 他の奨学制度等との比較

	Work Student制度	奨学金	新聞奨学生	夜勤アルバイト
4年間の収入	¥9,646,080	¥2,568,000※1	¥5,200,000※2	¥7,614,000※3
1ヶ月の収入	¥200,960	¥53,500	¥108,333	¥158,625
1日あたり収入	¥6,698	¥1,780	¥3,611	¥5,287
1ヶ月あたり労働時間	140時間	—	144時間	135時間
<b>1日あたり労働時間</b>	<b>7時間</b>	<b>—</b>	<b>6時間</b> (早朝+夕方+集金)	<b>9時間</b>
<b>収入を時給換算</b>	<b>¥1,435</b>	<b>—</b>	<b>¥752</b>	<b>¥1,175</b>
1ヶ月の休日日数	10日	—	6日	15日
無料の住宅提供	△ (2年以降社員寮・光熱費無料)	×	○ (光熱費自己負担)	×
労災保険	○	—	○	×
<b>国民健康保険</b>	○	×	×	×
<b>厚生年金</b>	○	×	×	×
<b>返済の必要性</b>	—	○ (15年～20年)	—	—
その他				入学金等を別途用意

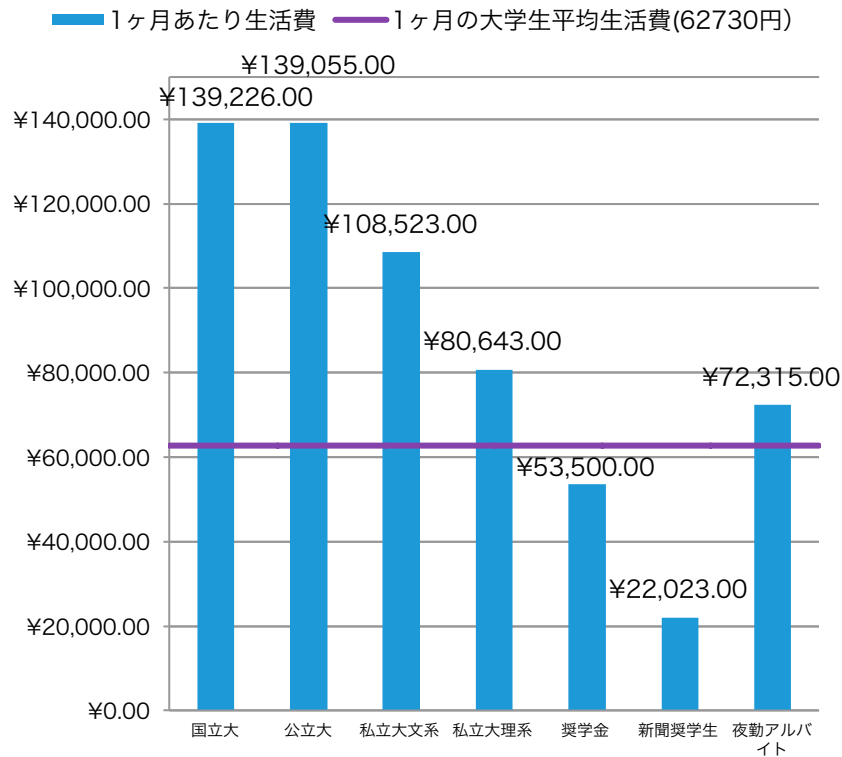
※1 JASSO (日本学生支援機構) の第一種奨学金 (貸与型) の平均支給金額 (国公立私立・文理の各区分を平均した金額)

※2 大手新聞社4紙で実施している新聞奨学生制度の平均支給額

※3 リクルート社「タウンワーク」調べ 名古屋市の平均時給940円×深夜割増1.25倍の金額

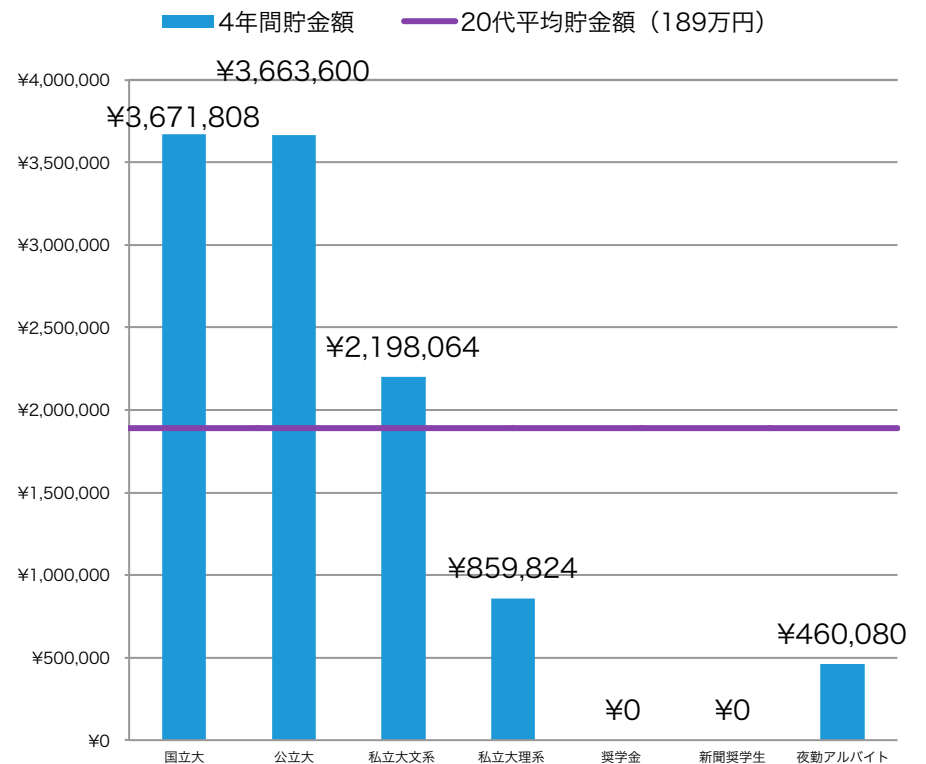
# 生活費比較

## 1ヶ月あたりの生活費比較



出典：日本学生支援機構「平成26年度学生生活調査」より  
大学昼間部の年間平均データを12で割った額

## 4年間の貯金額と20代貯金額比較



出典：金融広報中央委員会「家庭の金融行動に関する世論調査」  
平成28年調査結果

# (詳細) 生活費比較

月毎生活費比較	国立大	公立大	私立大文系	私立大理系	奨学金	新聞奨学生 ※1	夜勤 アルバイト ※1
1月あたり 生活費	¥139,226	¥139,055	¥108,523	¥80,643	¥53,500	¥22,023	¥72,315
<b>1日あたり 生活費</b>	<b>¥4,641</b>	<b>¥4,635</b>	<b>¥3,617</b>	<b>¥2,688</b>	<b>¥1,780</b>	<b>¥734</b>	<b>¥2,410</b>
大学生の 平均生活費※2	¥62,730	¥62,730	¥62,730	¥62,730	¥62,730	¥62,730	¥62,730
<b>平均生活費との 差額</b>	<b>¥76,496</b>	<b>¥76,325</b>	<b>¥45,793</b>	<b>¥17,913</b>	<b>¥-9,230</b>	<b>¥-40,707</b>	<b>¥9,585</b>
4年間貯金額 ※3	¥3,671,808	¥3,663,600	¥2,198,064	¥859,824	—	—	¥460,080

※1 1ヶ月あたり収入より学費分（私大文系の4年合計金額¥4,142,926を48分割＝¥86,310）を引いた残額

※2 日本学生支援機構「平成26年度学生生活調査」より、大学昼間部の年間平均データを12で割った額

※3 余剰金額を全て貯金した場合の金額

# 株式会社濃建について

社 名：株式会社濃建（のうけん）

創 業：昭和27年（1952年） ※会社設立は昭和48年（1973年）

資本金：3500万円（うち37%を名工建設株式会社が出資）

売 上：7億3500万円（平成28年3月期）

代表者：石川貴之

社員数：71名

事 業：東海道新幹線・東海道線在来線・樽見鉄道線の保線業務一式の請負  
一般土木 土木/岐阜県知事特（23）1587号 特定土木 舗装・とび・土工・管/岐阜県知事般（23）1587号

取引先：名工建設株式会社・樽見鉄道株式会社・垂井町・関ヶ原町ほか

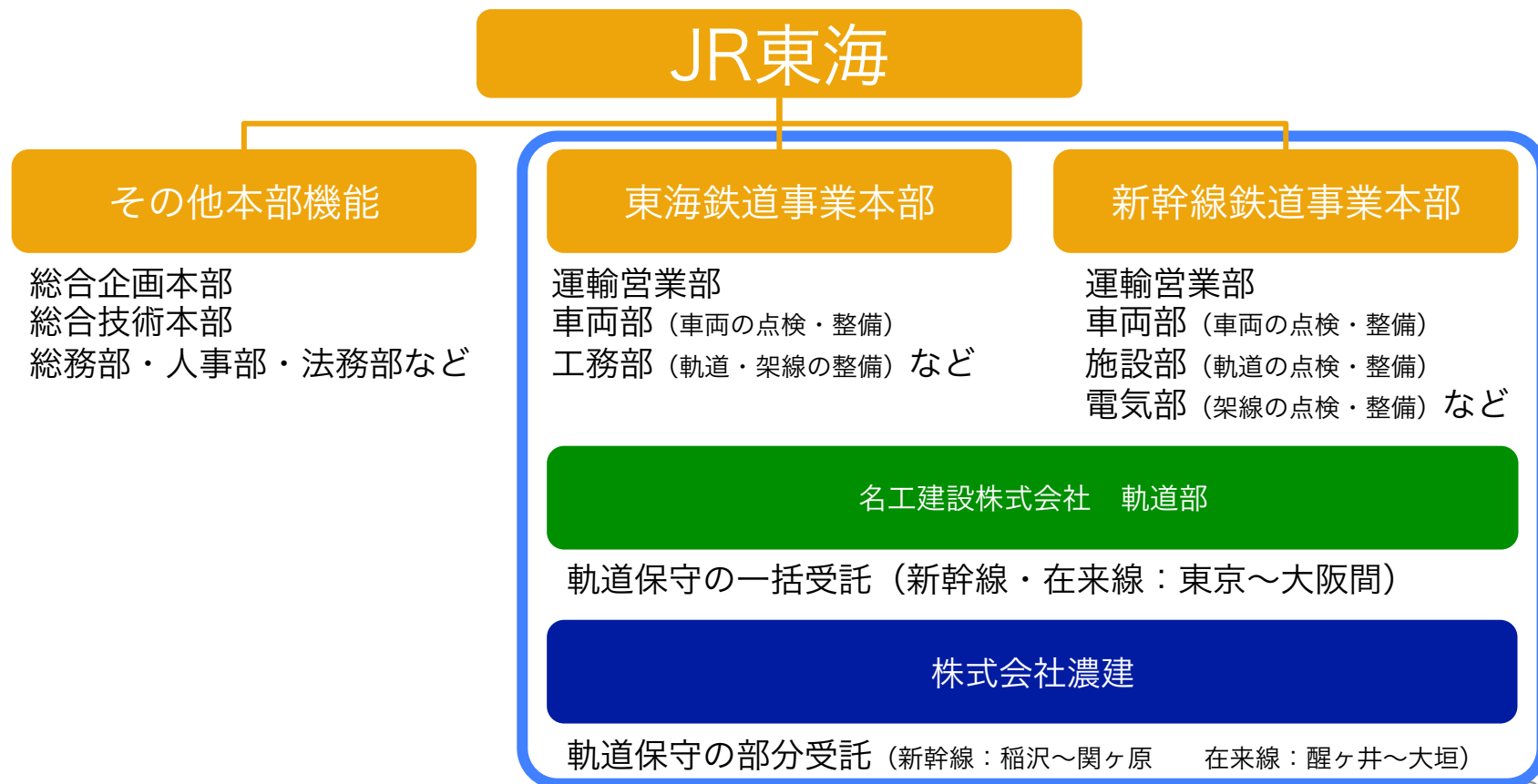
子会社：株式会社山一工機

沿 革：昭和27年	名工建設株式会社の直用班から独立。
	踏切工事等軌道関係の会社「石川組」として創業
昭和39年	東海道新幹線開業に伴い新幹線建設事業に進出
昭和47年	垂井町・岐阜県の土木舗装工事の指名業者指定
昭和48年	「株式会社濃建石川組」と会社組織化
昭和49年	山陽新幹線新設工事
昭和53年	東北新幹線新設工事・岐阜高架事業工事
昭和60年	「株式会社三濃壮組」と合併し「株式会社濃建」と改組
平成6年	尾張一宮高架事業工事



# 濃建の事業領域

昭和27年の創業以来、JR東海（旧国鉄）から一貫して鉄道の保線作業を任されています。現在は、名工建設株式会社の関連会社として、在来線と新幹線の軌道保線事業を行っています。保線は鉄道がある限り無くならない仕事です。このように安定した環境なので、定年まで長期に渡って安心して働いて頂くことができます。当社の平均勤続年数は13年と業界の中でも上位に入ります。



# 当社の特徴

## 現社員の1割が10代から当社に勤務

現在、濃建に所属する73名の社員のうち1割に当たる8名が10代から勤務。  
うち3名は役員まで昇進しており、若年層でも勤務可能かつ長期間勤務者は  
着実にキャリアアップできる社風です。

## 述べ社員数の45%が定年まで勤務

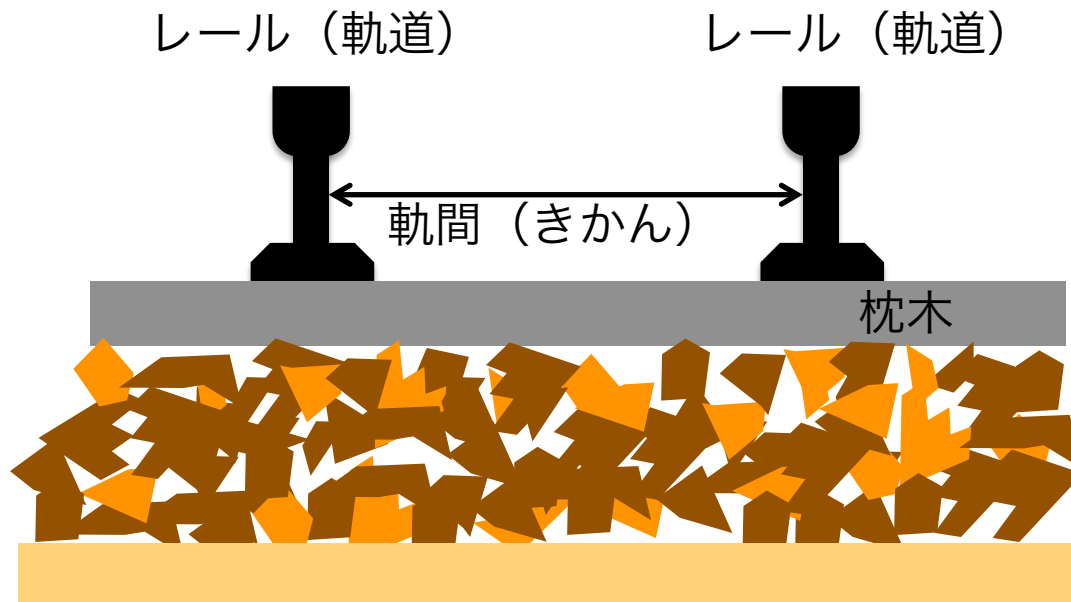
当社にこれまで在籍していた179名の社員のうち、45%にあたる81名が定年まで勤務。  
高い定着率と定年まで安心して勤務可能な環境を提供します。

# 仕事の内容

線路を整備することを「保線」と言います。

線路は「レール」「枕木」「バラスト」の3要素で成り立ちます。

この3つを整備し、受持区間を最善の状態で維持するのが濃建の仕事です。



バラスト

道床 (地面)

# 1日の流れと1週間の流れ

仕事は基本的に夜勤で、シフトにより出勤日が決定します。1週間で5日勤務が基本です。  
学業との両立が図れるように履修状況を考慮しながらシフトを決定していきます。  
年末年始・ゴールデンウィーク・お盆は帰省ラッシュなどで鉄道利用者が増加する時期なので、作業中止期間となります。その期間は長期休暇となります。

## 1日の流れ（仕事の流れは一例で内容により変化します）

### 夜勤の場合

22：00 集合・器具準備  
23：00 点呼（作業前の打ち合わせ）  
00：30 現場（線路）入り・作業開始  
04：00 作業終了  
05：30 帰社（早期作業完了で帰社時間が早まります）

### 長期休暇

年に数回ある長期休暇では趣味や旅行、帰省等をしてリフレッシュする社員も多くいます。

年末年始休暇・ゴールデンウィーク休暇・お盆休暇など  
（各5日～10日程度※年により日数は異なります）

# 募集要項

職 種：Work Student（軌道工）  
勤 務：株式会社濃建 羽島作業場（岐阜県羽島市上中町長間1801）  
雇用形態：正社員（雇用期間の定めなし）※一般企業就職者は四年で契約終了  
就業時間：22時～5時30分  
資 格：普通自動車運転免許（入社後の取得も可能）  
給 与：初任給200,960円  
賞 与：あり（業績により変動）  
昇 給：あり（成績・評価により変動）  
社 宅：あり（Work Studentは卒業まで無料）  
休 日：原則日曜・会社指定（年末年始・お盆等）  
社会保険：雇用保険・労災保険・健康保険・厚生年金  
福利厚生：退職金制度・財形制度  
研 修：新入社員研修・各種資格取得研修  
募集人数：4～7名

# 学業との両立のために

## 成績優良者賞与

優秀な成績を収めた者に対してインセンティブを支給。勉学に打ち込む為のモチベーション向上を図る

- ・学期ごとに基準以上のGPAの成績取得者に対して賞与支給
- ・学年ごとに目標取得単位を設定し、単位を取得者に対して賞与支給

## チューター制度

先輩奨学生が単位登録指導や仕事と勉学の両立や一人暮らしについてサポート  
慣れない環境から順応していく為の支援体制を構築

## 昇給・諸手当

進級するごとに後輩指導や仕事面での技量向上に伴い昇給や諸手当を支給

# 生活イメージ

名古屋市内の大学（通学区間：新羽島～＜名古屋経由＞～星ヶ丘）に通学想定  
卒業必要単位：124単位

1年次…1コマ2単位 半期24単位 年間48単位取得

授業	時間割	月	火	水	木	金	土	日	
勤務	勤務時間	2コマ	3コマ	2コマ	3コマ	2コマ	勤務		
00:00～01:00	勤		出	出		出	出	出	
01:00～02:00	勤		出	出		出	出	出	
02:00～03:00	勤		出	出		出	出	出	
03:00～04:00	勤		出	出		出	出	出	
04:00～05:00	勤			出		出	出	出	
05:00～06:00									
06:00～07:00									
07:00～08:00									
08:00～09:00									
09:00～10:30	1		講		講	講			
10:40～12:10	2		講	講					
12:10～13:00	昼休								
13:00～14:30	3	講	講		講	講			
14:40～16:10	4	講		講	講				
16:20～17:10	5								
17:10～18:00									
18:00～19:00									
19:00～20:00									
20:00～21:00									
21:00～22:00									
22:00～23:00	勤	出	出		出	出	出		
23:00～00:00	勤	出	出		出	出	出		
合計									1日平均
勤務時間（出）		2	6	5	2	7	7	5	34 5
講義時間（講）		3	5	3	5	3	0	0	19 3
移動準備時間		3	4	3	3	5	5	1	24 3
睡眠時間		15	7	5	8	5	7	6	53 8
自由時間		1	2	7	6	4	5	12	37 5

2年次…1コマ2単位 半期18単位 年間36単位取得

授業	時間割	月	火	水	木	金	土	日	
勤務	勤務時間	3コマ	1コマ	2コマ	0コマ	3コマ	勤務		
00:00～01:00	勤		出	出	出	出		出	
01:00～02:00	勤		出	出	出	出		出	
02:00～03:00	勤		出	出	出	出		出	
03:00～04:00	勤		出	出	出	出		出	
04:00～05:00	勤			出	出	出		出	
05:00～06:00									
06:00～07:00									
07:00～08:00									
08:00～09:00									
09:00～10:30	1		講	講					
10:40～12:10	2	講		講					
12:10～13:00	昼休								
13:00～14:30	3	講				講			
14:40～16:10	4	講				講			
16:20～17:10	5					講			
17:10～18:00									
18:00～19:00									
19:00～20:00									
20:00～21:00									
21:00～22:00									
22:00～23:00	勤	出	出	出	出		出		
23:00～00:00	勤	出	出	出	出		出		
合計									1日平均
勤務時間（出）		2	6	7	7	7	2	5	36 5
講義時間（講）		5	2	3	0	5	0	0	15 2
移動準備時間		3	4	4	2	3	1	1	18 3
睡眠時間		12	6	7	6	6	9	7	53 8
自由時間		2	6	4	8	6	11	10	47 7

# 生活イメージ

名古屋市内の大学（通学区間：新羽島～＜名古屋経由＞～星ヶ丘）に通学想定  
卒業必要単位：124単位（1、2年で84単位取得済）

3年次…1コマ2単位 半期10単位 年間20単位取得

授業	時間割	月	火	水	木	金	土	日		
勤務	勤務時間	1コマ	2コマ		2コマ	勤務	勤務			
00:00～01:00	勤		出	出		出	出	出		
01:00～02:00	勤		出	出		出	出	出		
02:00～03:00	勤		出	出		出	出	出		
03:00～04:00	勤		出	出		出	出	出		
04:00～05:00	勤			出		出	出	出		
05:00～06:00										
06:00～07:00										
07:00～08:00										
08:00～09:00										
09:00～10:30	1									
10:40～12:10	2	講	講							
12:10～13:00	昼休									
13:00～14:30	3		講		講					
14:40～16:10	4				講					
16:20～17:10	5									
17:10～18:00										
18:00～19:00										
19:00～20:00										
20:00～21:00										
21:00～22:00										
22:00～23:00	勤	出	出		出	出	出			
23:00～00:00	勤	出	出		出	出	出			
合計										1日平均
勤務時間（出）		2	6	5	2	7	7	5	34	5
講義時間（講）		1	3	0	3	0	0	0	7	1
移動準備時間		3	4	3	3	4	1	1	19	3
睡眠時間		12	5	6	12	6	7	6	54	8
自由時間		6	6	10	4	7	9	12	54	8

4年次…1コマ2単位 半期10単位 年間20単位取得

授業	時間割	月	火	水	木	金	土	日		
勤務	勤務時間	2コマ	1コマ	1コマ	勤務	1コマ				
00:00～01:00	勤	出	出	出	出	出				
01:00～02:00	勤	出	出	出	出	出				
02:00～03:00	勤	出	出	出	出	出				
03:00～04:00	勤	出	出	出	出	出				
04:00～05:00	勤	出		出	出	出				
05:00～06:00										
06:00～07:00										
07:00～08:00										
08:00～09:00										
09:00～10:30	1	講		講						
10:40～12:10	2	講								
12:10～13:00	昼休									
13:00～14:30	3					講				
14:40～16:10	4		講							
16:20～17:10	5									
17:10～18:00										
18:00～19:00										
19:00～20:00										
20:00～21:00										
21:00～22:00										
22:00～23:00	勤	出	出	出	出			出		
23:00～00:00	勤	出	出	出	出			出		
合計										1日平均
勤務時間（出）		7	6	7	7	5	0	2	34	5
講義時間（講）		3	1	1	0	1	0	0	6	1
移動準備時間		4	4	4	2	3	0	1	18	3
睡眠時間		6	8	6	7	8	9	9	53	8
自由時間		4	5	6	8	7	15	12	57	8



# 大学との関係構築

## Phace1

個人ベース

学生個人の自主性

アルバイトや学生起業と同じように自分自身の判断で就業している状態

## Phace2

大学の認知

勤労学生の認知

働きながら大学に進学する学生の存在は知っているが、その選択は本人に任せている

## Phace3

大学の承認

連携と制度の活用

新聞奨学生と同様に、学生生活を送る上での選択肢の一つとして「Work Student」制度を活用

大学からの公認や連携により、より多くの選択制の提示が可能。

同業の企業と連携することでより多くの若者に働きながら学ぶ場の提供が可能。

# よくある質問

途中で退学や退職した場合はどうなりますか？

→時期により相談。1年目での退職の場合は入学準備金の返済義務が生じます。

保証人は必要ですか？

→原則として保護者の同意が必要です。また保護者が保証人となります。ただし家庭環境などの止むを得ない事情の場合は保証人免除などの処置を検討します。

仕事内容や職場を見てから入社を決められますか？

→原則として最初の面接で勤務地にご来社頂き、実際に従事する仕事を体験して頂きます。面接に合格し、体験を通して四年間仕事が務まると判断した方に最終面接にお進み頂きます。

税金や社会保障等の手続きはどうなりますか？

→勤労学生の実習証明書を大学で入手して頂きますが、税関係の手続きや社会保障等の事務手続きは社内にて行います。

卒業後は新卒として一般企業に就職できるのですか？

→本人の就職希望先に対して会社として交渉を行います。現在は「新卒後3年以内の転職は新卒扱いとする」というルールがあるので、これを4年に伸ばすよう関係各所に交渉していきます。

**「Work Student制度」を通して  
負のスパイラルを断ち切り  
貧困や教育格差、奨学金問題などの  
社会課題の解決方法を提示していきます**

**本制度にご賛同賜りますよう、  
宜しくお願い致します**

# 「Work Student制度」

株式会社 濃建